

東京

明治薬科大学薬用植物園では、日本薬局方収載生薬の基原植物をはじめ、多種の植物を展示植栽しています。標本園を中心に主に3つの区画からなり、一番広い区画には、主に日本薬局方収載生薬の基原植物や民間薬として使用される薬草などを、また半日陰の区域には多くの山野草類を植栽して、四季折々訪れる多くの見学者の目を楽ませてください。薬草園に隣接した「明薬資料館」は、江戸時代から続いた薬舗に伝わる製薬道具などの薬業資料を集めた「大原薬業資料」および貴重な生薬標本と薬学関連資料等で、その一部が一般公開されています。薬学資料の中には「ヒボクラテス全集」やディオスコリデスの「ウィーン写本」など世界の薬学、医学の古典や、日本医学書の古典「解体新書」や「蘭学事始め」の復刻版なども展示されています。

日時

2017年10月11日(水) ※雨天決行
13:00~16:00(受付12:30~)

会場
(アクセス)

明治薬科大学 薬用植物園

東京都清瀬市野塩 2-522-1

- 西武池袋線 秋津駅下車 徒歩約12分
 - JR 武蔵野線 新秋津駅下車 徒歩約17分
- ※タクシー利用の場合は各駅より約10分

集合場所 明治薬科大学 薬用植物園入口

参加費 会員1,500円

申込締切 9月12日(火) ※当日消印有効

定員 40名 ※お申し込み多数の場合は抽選になります

